

令和8年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

窓の小帯

開校 130 年の歴史と伝統の上に立つ これまでも これからも

NO. 17 令和8年9月7日 発行 校長 黒島 俊一

～ 新・学校教育目標 ～

夢をもち みんなで高め合い
未来をひらく 帯小っ子

- おおきな心で
- びしっと学び
- ひろがる仲間と
- しっかり行う
- よい笑顔の
- うきうき帯小っ子

(令和8年4月1日制定)



「ボランティア精神」の意味を考える

夏休み中に、本校の体育館で市の危機対策課の職員の方が中心となって、災害時の避難所運営にかかわる研修会が開催されました。こうしたことに加え、最近の相次ぐ自然災害の発生は、世の中全体に不安と危機感の高まりを感じさせるものです。防災グッズなど、量販店ではコーナーを作って販売もされています。最近はずいぶんと大雨が続きましたが、小学校そばのウツバツ川の水位も怖いぐらいに上昇している様子を見ると、様々な災害を決して他人事にしない意識が大切なものと感じるところです。

ご家庭でのお備えはいかがでしょう。また親子で災害時の家族の約束事など話せるといいですね。

さて、ボランティアという言葉聞いて、何を思い浮かべるでしょう。地震等の自然災害の発生で、全国各地から被災地へ物資の大量の支援が届けられ、また、いわゆる「ボランティア」のみなさんが個人や自治体職員等により集まられてきて、復旧・復興に力を尽くしている様子も見聞きます。

ボランティアとはもともと「自分から進んで願い出る人」という意味があります。基本的には、「自ら進んで」という①自発性、「対価を求めない」という②無償性、「社会のために」という③公共性、「他に先駆けて」という④先駆性です。

つまりボランティアとは、「自ら進んで、お金や物を求めることなく、社会のために、他に先駆けて行う活動」と言えます。

本校のPTA活動も、保護者のみなさんがやれそうなことを、希望いただき確実に活動を頂いています。2学期も、朝の見守り活動はもとより、花壇造成や落ち葉拾い、学習サポーター等たくさんの「ボランティア」PTA活動が予定されています。引き続きご協力をよろしくお願いします。

イギリスの学校では、授業中、「この問題を前に出て誰かやってくれませんか」という、日本でもよく言う教師の問いは、「誰かボランティアはいませんか」という意味の表現をするのだそうです。自分から進んで無償でクラスのためのためにやる特に「ボランティア」という言葉を使うのです。そう考えると学校での当番活動や係活動、児童会活動等各種行事も「ボランティア」と言えるのかも知れません。ボランティアは人のため、社会のためとはいいつつも、最後は自分のためとも言われます。子供たちには、学校で大いに「ボランティア精神」で楽しく学んで、元気に仲良く活動して育ってほしいと願います。



帯広小学校自慢の3花壇
数と美しさでバランス
市内随一



春光町内会とオペラ
帯広小が最優秀賞に

緑と花・花壇コンクール

今年度は町内会、老人ク

「第43回帯広を緑と花でつむぐ花壇コンクール」(帯広市、帯広を緑と花で美しくする運動実行委員会主催)の表彰式が28日、市みどり花のセンターで行われた。各部門の最優秀賞は、豊光町内会とオベラが初めて選ばれたほか、帯広小学校が3年連続4回目の受賞を果たした。

今年度は町内会、老人ク



第43回花壇コンクール
最優秀賞受賞(3年連続4度目の受賞)
おめでとうございます

去る8月28日に、本校の花壇が学校部門で3年連続で最優秀賞を受賞し、過日、学校支援Co.畠山さんが、教頭先生とともに表彰式に出席してきました。

開校 130 周年の記念の年に花を添える受賞です。ここまで大変な苦勞を重ねて仕立てられている素晴らしい本校の3つの花壇は、子供たちはもちろん、来校者、保護者・地域の皆さんの心に、安らぎと潤いを与えてくれています。帯広小学校の財産をこれからも大事にしていきたいと思うのです。

なお、保護者をはじめ、地域のみなさんには引き続き花壇充実に向けて力をお貸し頂きたく、現在「**花壇ボランティア**」は**絶賛募集中**です。畠山さんとともに、学校の素敵なお花壇と一緒に楽しくつくってみませんか。興味のある方は、本校教頭まで（TEL.22－1424）**記事は8月31日付十勝毎日新聞から**

最優秀賞以外の入賞団
体は次の通り。

【一般花壇部門】

▽優秀賞：東光園通
▽優良賞：花野柏壽会
特別賞：愛国みなみ班、特別賞：東陽町内会、西春町内会、努力賞：夢北町内会、緑老人クラブ、連合会、愛陽町内会、三条高校西町内会

【学校部門】

▽優秀賞：川西小▽優良賞：愛国小▽特別賞：北栄小▽優良賞：稲田小、花壇小▽努力賞：柏小、明星小

日々の手入れで作った花壇は街並みを美しく彩り、市民の生活に潤いと安らぎを与えてくれている」とあいさつした。

目黒均部委員長（実行委員会）は、最優秀賞を受賞した団体の花壇を講師「これからコンクールが市民の生活に潤いと安らぎを与えるのを期待している」と述べた。（26日雅美）

学校力向上に関する総合実践事業協議会

「包括的な学校改革」として、道教委より表記の指定事業を受け2年目のまとめの年。専科教諭による専科指導（3～6年理科、5、6年算数、3～6年体育）に加え、今年度から各ブロックごとに「ブロック内専科」を進め、専門性の高い、系統的な指導に努めてきているところで、過日本校の取組に関する協議会が開催されました。

協議会では、全学級の授業参観の後、授業をする先生方の力への評価とともに、シンプルな仕立てで、わかりやすい授業づくりや小中学校間の連携の大切さ、担任から教科担任へ委ね、託していく連携の大切さなどが話題になりました。小学校ではまだなじみが薄い教科担任制の拡充と充実を図ることに向け、引き続き研究と取組に磨きをかけて参ります。

R8.9.1 教職員全市レク(ミニバレー)から。



今年は優勝を逃しましたが、笑顔いっぱいの教職員もきらきらさんです。

12:45～13:15

受付

13:15～14:00

授業公開 (参観できます)

14:10～14:35

全体会・分科会 (参加できません)

14:40～15:40

開校 130 周年記念第 34 回帯広小学校教育研究発表会 9 月 18 日

低学年ブロック

学級 授業者	教科・領域	単元名・題材名 本時のキーワード
1-1 高山里歩	算数	どちらがおおい？ 「間接比較」「説明」
2-1 村上 靖	道徳	たんじょう日 「いのち」「感謝」
3-1 石川留美	国語	書くことを考えるときは 「納得して選ぶ」

特別支援ブロック

学級 授業者	教科・領域	単元名・題材名 本時のキーワード
こもれび1組 中村尚子	算数	3つのかずのけいさん 「場面の想像」「お話作り」
こもれび2組 鈴木 淳	自立 活動	人間カラーコピー機 「協力」「認め合う」
こもれび3組 岩井 裕	道徳	気持ちの温度計 「自分を見つめなおす」
のぞみ学級 松本裕子	算数	それぞれの算数の力を 生かした協働学習 「生かす」「協力」

高学年ブロック

学級 授業者	教科・領域	単元名・題材名 本時のキーワード
4-1 山本未央	音楽	日本と世界の音楽 「音楽の秘密」「表現の工夫」
5-1 新庄茂生	社会	自動車を作る工業 「ジグソー学習」「振り返りの工夫」
6-1 多治見莉子	道徳	ばかじゃん 「理想の友情」「信頼」「関係性」

ことばの教室ブロック

鳥居麻由美 藤崎まゆみ	自立 活動	言語通級における実践発表 および意見交流
----------------	----------	-------------------------

今年も全学級の授業公開で開校 130 周年記念第 34 回教育研究発表会を開催します。全学級の担任教諭が、時間とエネルギーをかけて

よくわかる楽しい授業づくりにつとめてきました。当日は多くの教育関係者の来校がありますが、**公開授業のみ保護者参観ができます**ので、ご都合がございましたら、どうぞご来校下さい。通常の参観日とは違う、お子さんの学びの姿が見られるかも知れません。**5 時間目の授業後は、全校一斉下校します (14:05 頃)**。お車でご来校の際は、**学校グラウンドに駐車され、グラウンドに面した学校西側出入りからお入り下さい。**

帯広小今日のきらきらさん

(写真左上) 全教研 パズル道場検定 図形・思考力 1 級
3 年 梶野 雄太 さん
1 級になることはなかなか難しい、3 年生で認定とは素晴らしい

(写真右上) 阿波踊り会館主催 熱演賞 クロール 50M 記録 45 秒 61
5 年 宮下 菜子 さん
姉妹都市訪問で市内の小学生と共に徳島市に行かれて阿波踊り体験。
私も踊ったことがありますが、難しくて、汗かきますよ、これは。

(写真左下) 鹿追カップ 2026 準優勝 帯広中央 FC
松田 蓮成さん 平田 駿介さん 渡部 叶翔さん 目黒 圭太良さん
自力あるチーム、着実に力を付けてますね。

(写真右下) ヤマハ音楽能力検定 ピアノ演奏グレード 8 級
クロール 50M 50 秒 95
3 年 若狭 美咲 さん
ピアノ・水泳とを極める道を着実に進んでいますね。ガンバレ！

